

ちびっこ冒険ひろば

ちび"冒"通信



第3号 2017年度 冬

ちびっこ冒険ひろばの横にある森。まだまだ寒い風が吹く日もありますが森に入ると冷たい風を木々がさえぎってほんのりあたたかさが感じられる空間♪ かき集めた落ち葉の山のベツにごろーんと寝ころんだり、自分の背くらいの木を運んだり、落ち葉の下にあるどんぐりを集めたり、手にした枝で木をコンコンたたいて手に伝わる振動をたしかめたり・・・

森の中での子どもの遊び、とてもおもしろい！
ぜひ探検に出かけてくださいね！



あま冬の日のみとこま



時折、ぽかぽか陽気に包まれる日もありました。不思議なことにそんな日は長靴をはいてくる子ども達が多め！子ども達が「今日はこれ！」と選んでいるとのことですが・・・そんな日は水遊びが人気でした♪感覚で分かっているのかしら（笑）不思議ですね！水場からせっせつと水を汲んでいる中、水場の下の蛇口が混んでいたため、水飲み器の方の蛇口からじょうろに水をいれようとした3歳児くん。なんとかじょうろの口に水飲み器の水が入りはじめたら・・・風の向きが変わり、水が逆の方向に落ち始めました。「あれ？」とじょうろを移動してまたいれはじめたら・・・また風の向きが変わって違うところに落ちる水。何回かじょうろで追いかけた後『風かな？』と発見！「遊び」と「学び」を行ったり来たりしながら子どもは育っていくんですね。

ゆりちゃんのつぶやき

「心身ともに」というフレーズなどにでてくる「心身」という言葉。日本古来は「身心」と書かれていたそうです。身体がつくられてから、心は後からついてくるという考え方。心身というのは西洋から入ってきたようですね。どちらが正しいとかではないのですが、子ども達を見ていると身体を使いこなしていくことで心がたくましく育っていくなあと感じることがあります。自分の身体はどんな風に動くのか、どんなことができるのか。子ども達は遊びの中で自分を知って、そして自分の「できる！」を広げていくように思うのです。最初はちび冒の斜面をおりるのに躊躇していた子もお尻ですべてみる中で、坂をおりる時の足の使い方を体得していきます。水を汲んで運ぶ。泥を触ってみる。

芝生の坂をのぼってみる・・・たくさんの「やってみたい」の種がちび冒にありますね！
ちび冒の西側の森の中にもちょっとした崖がありますよ～。

主催 緑児童館

名古屋市緑区相原郷 2-701 Tel/Fax : 052 - 623 - 9656

<http://www2.odn.ne.jp/midorijidoukan/>

E-mail : m-jidoukan@smile.odn.ne.jp